

授業日	1/31(火)	3学期授業回数	3回目 / 全6回																								
学習目標	クロスカリキュラム・ピアティーチングに向けてアイデアを発表することが出来る。 来週の新明和工業株式会社訪問に向けて質問項目を作成することが出来る。																										
時間 授業内容	70          20	<p>各グループ7分(±20秒)でワークショップの内容を発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質疑応答あり</li> <li>・ 資料あり (発表スライド、ワークショッププランシート)</li> <li>・ ルーブリックを用いて相互評価を行う</li> </ul> <p>新明和工業株式会社への質問項目作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新明和工業の技術や商品の「メリット」「デメリット」を動画やHPから情報を集めて整理</li> <li>・ 新明和工業がAIを実装させた、またはさせようとしている技術や商品に懸念される問題点を指摘</li> <li>・ 実際に開発者にお会いした時に聞いてみたい質問内容の列挙</li> </ul>																									
評価方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容①</td> <td>授業内容を生徒が主体的に解釈し再構築することができている。</td> <td>授業内容を生徒が理解しアウトプットすることができている。</td> <td>生徒は授業内容を伝達しようとしているが、十分な理解に至っていない。</td> </tr> <tr> <td>内容②</td> <td>授業を通して生徒が一定の価値観を構築していることが垣間見られる。</td> <td>授業を通して生徒が理解したことを使いこなせているが価値観の構築には至っていない。</td> <td>授業を通して生徒が何を理解しているのかが伝わってこない。</td> </tr> <tr> <td>協同性</td> <td>講義・ワークショップを班の構成員の協同により形成されていることがうかがえる。</td> <td>講義・ワークショップを班の構成員の多くが関わっていることがうかがえる。</td> <td>講義・ワークショップが一部の生徒によって作られ、運営されているように見える。</td> </tr> <tr> <td>手法</td> <td>初めて学ぶ人に「より深く学んでみたい」と意欲を促すような講義・ワークショップの工夫が施されていた。</td> <td>初めて学ぶ人にも分かりやすく取り組みやすい講義・ワークショップの工夫が施されていた。</td> <td>講義・ワークショップに積極的な工夫は見られなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	内容①	授業内容を生徒が主体的に解釈し再構築することができている。	授業内容を生徒が理解しアウトプットすることができている。	生徒は授業内容を伝達しようとしているが、十分な理解に至っていない。	内容②	授業を通して生徒が一定の価値観を構築していることが垣間見られる。	授業を通して生徒が理解したことを使いこなせているが価値観の構築には至っていない。	授業を通して生徒が何を理解しているのかが伝わってこない。	協同性	講義・ワークショップを班の構成員の協同により形成されていることがうかがえる。	講義・ワークショップを班の構成員の多くが関わっていることがうかがえる。	講義・ワークショップが一部の生徒によって作られ、運営されているように見える。	手法	初めて学ぶ人に「より深く学んでみたい」と意欲を促すような講義・ワークショップの工夫が施されていた。	初めて学ぶ人にも分かりやすく取り組みやすい講義・ワークショップの工夫が施されていた。	講義・ワークショップに積極的な工夫は見られなかった。				合計
	A	B	C																								
内容①	授業内容を生徒が主体的に解釈し再構築することができている。	授業内容を生徒が理解しアウトプットすることができている。	生徒は授業内容を伝達しようとしているが、十分な理解に至っていない。																								
内容②	授業を通して生徒が一定の価値観を構築していることが垣間見られる。	授業を通して生徒が理解したことを使いこなせているが価値観の構築には至っていない。	授業を通して生徒が何を理解しているのかが伝わってこない。																								
協同性	講義・ワークショップを班の構成員の協同により形成されていることがうかがえる。	講義・ワークショップを班の構成員の多くが関わっていることがうかがえる。	講義・ワークショップが一部の生徒によって作られ、運営されているように見える。																								
手法	初めて学ぶ人に「より深く学んでみたい」と意欲を促すような講義・ワークショップの工夫が施されていた。	初めて学ぶ人にも分かりやすく取り組みやすい講義・ワークショップの工夫が施されていた。	講義・ワークショップに積極的な工夫は見られなかった。																								
			合計																								
宿題指示	なし																										